

弘前大学学報



入学試験願書受付開始

第 130 号
平成27年 1月号

学内ニュース

○平成27年 年頭の挨拶	-----	1
○平成27年度大学入試センター試験実施	-----	2
○米国メイン州立大学教員による講演会を開催	-----	3
○「太宰治 修身ノート」デジタル版を公開	-----	4
○弘前大学食料科学研究所とむつ市との間で連携・協力に関する 協定を締結及び海の幸下北プレンダー試食会の開催	-----	5
○弘前大学東京事務所開所式を挙	-----	6
○青森に関する書籍の紹介コーナーを設置	-----	7
○平成26年度岩谷元彰弘前大学育英基金採用者授与式を挙	-----	8
○むつ市長による講演会 「むつ市が目指す地方創生」を開催	-----	9
○平成26年度弘前大学COIイノベーション・サミットを開催	-----	10
○「弘前大学学生企画コンテスト」表彰式を開催	-----	11

諸 会 議	-----	12
--------------	-------	----

人 事

○新任教授紹介	-----	14
○人事異動	-----	14

主要日誌	-----	17
-------------	-------	----

学内規則	-----	18
-------------	-------	----

平成27年 年頭の挨拶

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は皆さんに大変お世話になり、本学教職員の努力と学外からのさまざまなご支援により、一定の成果を挙げることができたと自認しております。大変ありがとうございました。これに甘んじることなく、本年も相変わらず、或いは昨年以上に、教育研究と社会貢献に努めていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ご承知のように、本年4月からの新年度は第2期中期目標・中期計画期間の最後の年になります。これまでの取組を総括し、新たな期間の在り方を考えるという極めて重要な作業が進んでいます。教職員の一人ひとりがこれを自らの課題と捉え、本学の近未来を設計する作業に主体的に係っていただくようお願い致します。

また、一昨年から進めてきた教育研究組織の再編に関しても、いよいよ成案を得る時が近づいてきたと言えると思います。そして、その具体化というさらに難しい作業が見えてきました。現在進行しつつある再編計画の趣旨を十分理解し、その具体化を積極的に進めていくべく、皆さんと共に着実に歩んでいきたいと念じています。

昨年策定した基本計画において、弘前大学は地域活性化の中核的拠点を目指すことを明確にしました。このことは、「世界に発信し、地域と共に創造する」という本学のスローガンと矛盾するものではなく、繰り返し述べてきた通り、地域と共に創造した成果をもって、世界に発信することを目指すものです。更に言えば、真のグローバル化を目指す中で育った人材が地域で活躍することになるものと思います。COC事業の成果をはじめ、地域連携、地域貢献の体制も一層整備されてきました。

平成27年年頭にあって、地域活性化の中核的拠点としての本学の姿を確固たるものにすべく、皆さんと共に決意を新たにしたいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

平成27年 1月 5日
弘前大学長 佐藤 敬

平成27年度大学入試センター試験実施

平成27年度大学入学者選抜大学入試センター試験が、平成27年1月17日（土）、18日（日）の2日間にわたり全国一斉に実施されました。県内では弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森中央学院大学、八戸学院大学、八戸工業大学、北里大学獣医学部及び田名部高等学校の9試験場で実施され、本学は弘前大学試験場と田名部高等学校試験場を担当しました。本学担当試験場の志願者数及び受験者数は、次表のとおりです。

なお、この後、本学の一般入試は、前期日程試験が2月25日（水）、26日（木）（合格発表は3月6日（金））、後期日程試験が3月12日（木）（合格発表は3月20日（金））に実施されます。

◇平成27年度大学入試センター試験 教科別受験状況

弘前大学試験場 田名部高等学校試験場	志願者数：1,682人
-----------------------	-------------

1月17日 (土)	科目	地理歴史・ 公民	国語	外国語 (筆記)	英語 (リスニング)
	受験した者の人数	1,505	1,600	1,605	1,603

1月18日 (日)	科目	理科①	数学①	数学②	理科②
	受験した者の人数	658	1,553	1,452	1,031

米国メイン州立大学教員による講演会を開催

平成27年1月7日（水）、協定校である米国メイン州立大学から招聘したチドリュースキー先生とビーマン先生による講演会を、弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大 八甲田ホールにて開催しました。

“A unique approach to developing alternative energy from the ocean” と題し、米国における最初の潮流発電機の設置に携わった彼らの経験について講演していただきました。

青森がそうですが、世界中の沿岸地域社会にとって、潮流は代替エネルギーの選択技として重要になっています。しかし、魚への影響など、設計や建設以外の障害が潜在的にこの新しい技術の成功を妨げています。

このプロジェクトを成功させるため、彼らのメインCobscook bay における、企業、科学者、監査官・調整役、地域の方々と一緒にやって行った学際的なアプローチを紹介していただきました。プロジェクトの初期の段階からすべてのステークホルダーを巻き込んだ、いわゆるボトムアップ型のやり方です。

本学は、2002年9月に津軽海峡で潮流発電の研究を開始しました。そして、2010年10月に、バイオマス、地熱、潮流など、寒冷地における再生可能エネルギーの研究開発及び教育、ならびに地域貢献のため、NJRISEを設置しました。

最近では、潮流エネルギーの利活用方法を模索するため、青森県と協力し、津軽半島北部地域における流速を調査しています。



メイン州立大学教員による講演の様子



参加者による質問の様子

「太宰治 修身ノート」 デジタル版を公開

弘前大学附属図書館は、同館が所蔵する貴重資料「太宰治 修身ノート」のデジタル版を平成27年1月9日（金）、ホームページで公開しました。

貴重資料のデジタル公開は「津軽領元禄国絵図写」「阿仁鉱山関係絵図」「太宰治 英語ノート」に続く第4弾で、今回の公開により太宰治の自筆ノート2冊のデジタル版が揃ったことになります。

自筆ノートは、1927年に旧制弘前高校時代に入學した太宰が、第1年次の「英語」と第2年次の「修身」の講義を書き留めた大学ノートで、2009年に著名な郷土文学研究家小野正文氏のご子息から寄贈されました。原本は痛みが激しいため、自筆ノートを多くの人に見てもらいたいと2013年、複製本を弘前大学出版会から刊行し、その後、デジタル版公開に至っています。

「修身」ノートには、「英語」ノート同様、表紙、裏表紙、表見返し、裏見返しに太宰の落書きがあり、なかには自画像とおぼしき人物画が認められます。デジタル版は拡大して筆跡の細部まで見ることができます（下記URL参照）。自筆ノートの翻刻は「弘前大学学術情報リポジトリ」で公開しています。

※URL：<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/>



太宰の落書きを見ることができる修身ノート

弘前大学食料科学研究所とむつ市との間で連携・協力に関する協定を締結 及び海の幸下北プレンダー試食会の開催

弘前大学食料科学研究所は、むつ市との間で、相互の発展に資するため両者が包括的な連携のもと、農林水産物に関わる高機能ブランド化、地域資源調査、地域資源研究開発及び新産業創出等の分野において相互に連携・協力する協定を平成27年1月15日に締結しました。

むつ市役所で行われた協定書調印式には、むつ市から宮下市長、新谷副市長、浜田経済部長、本学から佐藤学長、大河原社会連携担当理事・副学長、嵯峨食料科学研究所長が出席し、宮下市長と嵯峨食料科学研究所長が協定を締結しました。

調印にあたって、宮下市長からは、「下北の食を支えていく第一歩となる協定であり、今後PRを含め弘前大学の知恵を拝借したい。」と、嵯峨食料科学研究所長からは、「下北産の食材には大きなポテンシャルがあり、それら食材の高付加価値化を図ると共に、PRについても協力していきたい。」とそれぞれ挨拶がありました。また、佐藤学長からも「下北地域は第1次産業以外にも大きなポテンシャルがある。本学としても下北地域の発展に貢献していきたいと考えている。」と挨拶がありました。

その後、場所をむつグランドホテルに移し、むつ市と本学が共同開発した「海の幸下北プレンダー」（銀の皿にクラッシュアイスを乗せ、その上に下北周辺の魚介類を盛りつけたもの）の試食会を連携の第1歩として実施し、招待者から好評を博しました。なお、「下北プレンダー」の名称は、平成27年1月15日現在、商標登録申請中となっています。

これまで、むつ市とは様々な協力関係を進めてきたが、食や地域貢献に関する協力を加え、更なる連携を図っていくことが期待されます。



協定書締結及び海の幸下北プレンダー試食会の様子

弘前大学東京事務所開所式を挙

本学は、従来より東京都江戸川区に東京事務所を設置していましたが、この度、機能強化を目的として、中央省庁からほど近い西新橋に新たに事務所を設置しました。

このことを受け、平成27年1月19日（月）16：00から、弘前大学東京事務所を設置しているオフィスビル「クロスオフィス内幸町」1階にて、文部科学省を始めとした関係機関の方々をお招きし、「弘前大学東京事務所開所式」を挙

行しました。青森県の三村知事（代読）からご祝辞をいただき、続いて弘前大学東京事務所長である柏倉研究担当理事から、新たに設置した弘前大学東京事務所の概要を説明し、最後にテープカットを行いました。

その後、同ビル7階の弘前大学東京事務所の内覧を兼ねて、事務所内でささやかながら祝賀会を開催しました。

当日は、文部科学省関係者のほか、青森県選出の国会議員の方々を始め、青森県、青森市、八戸市、青森銀行、みちのく銀行などの青森県関係機関、また、長崎大学や近畿大学の東京事務所・センター、本学の東京同窓会などから多数の方々にご臨席いただき、盛会のうちに終えることができました。



式辞を述べる佐藤学長



文部科学省松尾参事官からのご祝辞

青森に関する書籍の紹介コーナーを設置

図書館では、学生の皆さんに青森や弘前のことをもっと知ってもらうため、これから、青森に関する書籍を充実していく予定です。その先駆けとして、青森に関する書籍の紹介コーナーをつくりました。学生の皆さんの様々な興味関心に対応できるよう、多様なジャンルの書籍を取りそろえています。

また、図書館は今年度リニューアルオープンし、ブナコやこぎん刺しなど、青森の特産品を各所に取り入れています。地域の特産品に囲まれて、青森に関する書籍を読み、その魅力を再発見してみませんか。

なお、本学では、今年度「平成26年度 文部科学省 地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」に採択され、青森に関する学修を充実させ、地域の課題を考えることのできる人材の育成を推進していくこととしています。

詳細は下記URLをご参照ください。

URL：<http://coc.hirosaki-u.ac.jp/>



平成26年度岩谷元彰弘前大学育英基金採用者授与式を挙

本学では、平成23年度に岩谷元彰弘前大学育英基金を設立し、成績優秀で経済的に就学困難な学生に対し、奨学金として一人20万円、留学費用として一人5万円を給付しています。本育英基金は本学の前身である官立弘前高等学校の卒業生で、弁護士として長年活躍されている岩谷元彰氏からご厚志を受け設立されたもので、今年度は併せて15名の学生が採用され、平成27年1月21日（水）に弘前大学創立50周年記念会館で採用者授与式を行いました。

授与式では出席者への採用通知交付の後、佐藤学長から学生に対して、「岩谷氏のご厚志を忘れず、社会に出てから社会に還元できるように、これからも日々努力してください」との激励の言葉がありました。



学生を激励する佐藤学長

むつ市長による講演会 「むつ市が目指す地方創生」を開催

本学では、社会連携や地域貢献にかかるFD・SD事業として、幹部級職員を主な対象とした青森県むつ市長による講演会「むつ市が目指す地方創生」を、平成27年1月22日（木）に弘前大学創立50周年記念会館岩木ホールで開催しました。

この講演会は、先に行われた青森県基本計画等に関する説明会等続く第5回目で、地域志向大学として県内全域での地域貢献活動を一層推進していくために、青森県下北地域の現状や同地域の将来ビジョンに関する見識を深めることを目的として開催されました。

講演会には、佐藤学長をはじめ、役員、部局長、教育研究評議員など幹部職員らが、また、弘前商工会議所事務局長や弘前市行政経営課職員など、学内外合わせて38名が出席しました。

講演者の宮下宗一郎むつ市長からは、「むつ市の所在する下北地域は地理的条件の不利のため産業、経済、交通、教育などの様々な面において大変厳しい状態です。しかし、水産物をはじめとする全国的に有名な地産品や、有望視されている地熱エネルギーなど潜在的なポテンシャルは高いので、これらを活用し、不利な部分を魅力に変えるような取り組みを進めていきたい。」と、むつ市が掲げる基本計画の方針が述べられました。

後半には、むつ市が行っている様々な活性化事業についての概要説明と活発な質疑応答が交わされ、出席者の関心の高さを感じさせるとともに、本学には産業の発展や教育の充実に対して、さらなる連携と貢献をお願いしたいとの要望がありました。



講演する宮下むつ市長



質問する曾我副理事・生涯学習
教育研究センター長

平成26年度弘前大学COIイノベーション・サミットを開催

平成27年1月30日（金）、ナクアシティ弘前において「弘前大学COIイノベーション・サミット～真の社会イノベーションを実現する“革新的『健やか力』創造拠点”の形成に向けて～」を開催しました。

本サミットは、文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」に採択された、本学と企業及び自治体等で組織する「脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発（略称：革新的「健やか力」創造拠点）」をテーマとした研究拠点の活動を推進するにあたり、産学官金の関係者が一同に会し、これまでの研究成果の発表や新たな産業創出のあり方などについて討論する場として開催しました。

当日は、一般市民も含め、約450名が参加する中、佐藤学長、青森県三村申吾知事、弘前市葛西憲之市長の開会挨拶から始まり、文部科学省土屋定之文部科学審議官、（独）科学技術振興機構齊藤仁志執行役に御挨拶を賜り、弘前大学COI研究推進機構中路重之副機構長（研究リーダー）からこれまでのCOI研究の成果を発表しました。

その後、COI STREAMガバニング委員会小宮山宏委員長（東京大学前総長）、COI STREAMビジョン1松田譲ビジョナリーリーダー（協和発酵キリン前社長）、GEヘルスケアジャパン株式会社川上潤社長兼CEO、京都府立医科大学COI-T奥村太作プロジェクトリーダー、九州大学大学院医学研究院環境医学分野 清原裕教授から御講演いただきました。

また、パネルディスカッションにおいては、日経BP社宮田満特命編集委員がモデレータとなり、上記の講演者にCOI STREAM構造化チーム水野正明COI研究アドバイザー（名古屋大学医学部附属病院・教授）、東京大学松島克守名誉教授（（一社）俯瞰工学研究所代表）が加わり、弘前大学COI拠点への期待や今後目指すべき成果について、活発な議論が交わされました。

加えて、土屋定之文部科学審議官が大学院医学研究科及び医学部附属病院など、当COI拠点に関する設備を視察されました。

今後も本拠点では研究成果を継続的に報告するとともに、社会実装へ向けた取組を全県一致で続けていくこととしています。



来賓挨拶・土屋文部科学審議官



基調講演・小宮山委員長



報告する中路研究リーダー



講演する松田ビジョナリーリーダー

「弘前大学学生企画コンテスト」表彰式を実施

本学では平成27年1月30日（金）、「弘前大学学生企画コンテスト」の表彰式が弘前大学総合教育棟大会議室において行われました。

このコンテストは、本学の学生を対象に「弘前大学の魅力を最大限アピールしたCM企画「弘前大学ってこんなところ！」をテーマに3分以内の映像作品を募集したものです。

応募数7作品のうち

最優秀賞 『弘大生の1ページ』鈴木玲奈（人文学部）、芹川弘樹（農学生命科学部）

優秀賞 『なんで』 苫米地結子、中村円香（教育学部）

『1分でわかる弘前大学』青木智乃紳、永谷春香、黒瀧奎吾（医学部医学科）

他4作品が佳作として選ばれました。

表彰式では、伊藤副学長から一人ひとりに表彰状と副賞が手渡され、「これからも弘前大学の良さを学内外にアピールしてほしい。」と励ましの言葉がありました。

また引き続き、受賞作品の上映会が行われ参加者から感想が述べられました。

受賞作品は、本学ホームページから閲覧できます。



伊藤理事・副学長（右から4人目）と受賞者



最優秀賞作品『弘大生の1ページ』の一コマ

■ 諸 会 議

▼役員会

1月5日（月）

審議事項

- 1 弘前大学職員の健康推進について
- 2 中期目標・中期計画の変更について
- 3 平成26年度組織評価の評価結果（案）について
- 4 教育研究組織の評価単位に関する意向調査について
- 5 弘前大学教授会通則等の制定について
- 6 弘前大学21世紀教育科目における「放送大学との単位互換」の単位認定に関する規程の一部改正について

報告事項

- 1 平成27年度弘前大学国内研究員の候補者の推薦について
- 2 弘前大学研究・イノベーション推進機構 アドバイザリーボード報告（概要）について
- 3 COI研究推進機構専任教員の選考について
- 4 日経グローバル「大学の地域貢献度に関する全国調査2014」について
- 5 弘前大学教員の研究業績について
- 6 教員人事について
- 7 「学都ひろさき未来基金」寄附金の状況について

1月16日（金）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学特別顧問について
- 2 COC推進室教員（助教・コーディネーター業務担当）の選考について
- 3 COC推進室教員（助教）の選考について
- 4 弘前大学動物実験に関する規程の改正について

報告事項

- 1 弘前大学の改革プランについて
 - 2 平成26年度国立大学法人等施設整備費 補正予算について
 - 3 平成27年度予算内示等について
 - 4 「大学の地域貢献度に関する全国調査」について
 - 5 戦略的経費の進捗状況について
 - 6 大規模改修事業の進捗状況について
 - 7 その他
- (1) 平成26年度寄附金受入状況について

▼教育研究評議会

1月13日（火）

審議事項

- 1 中期目標・中期計画の変更について
- 2 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正について
- 3 弘前大学教授会通則等の制定について
- 4 弘前大学放射線安全機構規程の一部改正について
- 5 弘前大学21世紀教育科目における「放送大学との単位互換」の単位認定に関する規程の一部改正について

報告事項

- 1 教員の採用等について
- 2 「弘前大学あおもりこれからゼミ」について

-
- 3 平成27年度弘前大学国内研究員の候補者の推薦について
 - 4 弘前大学 COI イノベーション・サミット開催について
 - 5 弘前大学教員の研究業績について
 - 6 保健科学研究会について
 - 7 深浦町におけるサーモン養殖実証事業に関する三者連携協定締結について
 - 8 委員会等報告
 - (1) 教育委員会
 - (2) 入学試験委員会
 - (3) 21世紀教育センター運営委員会
 - 9 その他
 - (1) 次回以降の開催予定日

▼教育委員会

1月28日(水)

審議事項

- 1 授業の達成目標と成績評価基準について
- 2 支援が必要な学生の把握及び支援体制について
- 3 平成26年度弘前大学学生表彰について
- 4 その他

報告事項

- 1 弘前大学ドリーム講座の新企画について
- 2 GPA算出データの活用状況について
- 3 教育者総覧の記載内容の追加及び入力更新について
- 4 卒業生及び企業等アンケート集計結果について
- 5 ジェネリック・スキル測定 (PROGテスト) 分析結果について
- 6 新しい教養教育に関するFDについて
- 7 第10回学生相談を考える会について
- 8 平成26年度日本学生支援機構奨学生臨時採用の推薦状況について
- 9 課外活動団体の結成について
- 10 福利厚生スペースについて
- 11 その他

新任教授紹介

【平成27年1月1日発令】



農学生命科学部

イヅミヤ マサミ
泉谷 眞実

昇任
前職：農学生命科学部准教授

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年1月1日		島村 幸希	事務職員(財務・契約)
平成27年1月1日		畠山 裕将	事務職員(学務・就職支援)
平成27年1月1日		岡野 健介	助手(病) [H31.12.31まで]
平成27年1月1日		須藤 亜希子	助手(病) [H31.12.31まで]
平成27年1月1日		山尾 僚	助教(農生)
平成27年1月1日		田中 綾子	看護師(病・看護)

[任用更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年1月1日	准教授(医・高度) [H33.12.31まで]	柿崎 育子	
平成27年1月1日	事務職員(保) [H28.3.31まで]	細野 拓也	
平成27年1月9日	教諭(教育・附中) [H27.3.31まで]	小野 春美	

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年1月1日	准教授(農生)	泉谷 眞実	教授(農生)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年1月1日	係長(財務・予企室)	成田 聡	係長(財務・財企)

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年1月1日	係長(学務・就支室)	小山内 英子	係長(学務・学生)
平成27年1月1日	事務職員(理工)	澤田 祐人	事務職員(総務・人事)
平成27年1月1日	事務職員(財務・契約)	中村 芳子	事務職員(理工)
平成27年1月1日	助教(病)	室谷 隆裕	助教(医) [H31.12.31まで]
平成27年1月1日	助教(病)	田中 寿志	助教(医) [H31.12.31まで]
平成27年1月1日	助教(医)	伊藤 太平	助教(病) [H31.12.31まで]

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年1月1日	室長(財務・予企室)	對馬 孝行	係長(財務・予企室)
平成27年1月1日	准教授(医・高度)	柿崎 育子	准教授(医・糖鎖医学講座) [H27.3.31まで]

[免]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年1月1日	課長補佐(財務・財企)	山形 浩貴	係長(財務・財企)

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年1月1日	係長(施設・整計)	田村 貴之	休職更新 [H27.1.31まで]
平成27年1月1日	副看護師長(病・看護)	工藤 文子	休職更新 [H27.3.31まで]
平成27年1月1日	主任臨床検査技師(病・医技)	櫛引 美穂子	休職更新 [H27.3.31まで]
平成27年1月1日	看護師(病・看護)	大沢 美紗姫	休職更新 [H27.1.4まで]
平成27年1月5日	看護師(病・看護)	大沢 美紗姫	復職
平成27年1月6日	助教(病)	鈴木 香	休職開始 [H27.8.17まで]
平成27年1月19日	教授(人文)	作道 信介	休職更新 [H27.4.14まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年1月1日	事務職員(保)	山上 侑香	育児休業延長 [H28.3.31まで]
平成27年1月1日	薬剤師(病・医技)	西澤 三保子	育児休業延長 [H27.2.28まで]
平成27年1月6日	看護師(病・看護)	大鱈 陽子	育児休業開始 [H28.3.31まで]
平成27年1月8日	主任(総務・総務)	工藤 かおり	育児休業開始 [H27.11.30まで]
平成27年1月9日	教諭(教育・附中)	村井 千絵美	育児休業開始 [H27.12.31まで]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年1月10日	看護師(病・看護)	勝 瑞 彩 乃	育児休業開始〔H28.3.31まで〕

[離職]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年1月5日	教授(理工)	齋 藤 稔	死亡
平成27年1月15日	講師(病)	澁 谷 剛 一	辞職
平成27年1月15日	助産師(病・看護)	工 藤 玲 菜	辞職

■ 主要日誌

- 1月5日 役員会
- 7日 米国メイン州立大学教員による講演会
- 9日 「太宰治 修身ノート」デジタル版公開
- 13日 教育研究評議会
- 15日 食料科学研究所とむつ市との間で連携・協力に関する協定を締結
海の幸下北プラッター試食会
- 16日 役員会
- 17日 平成26年度大学入試センター試験（～18日）
- 19日 弘前大学東京事務所開所式
- 21日 平成26年度岩谷元彰弘前大学育英基金採用者授与式
- 22日 むつ市長による講演会「むつ市が目指す地方創生」
- 28日 教育委員会
- 30日 平成26年度弘前大学COIイノベーション・サミット
弘前大学学生企画コンテスト表彰式

■ 学内規則

(平成27年1月9日改正)

○国立大学法人弘前大学第3期中期目標・中期計画策定会議要項

第3期中期目標・中期計画の策定を円滑に遂行するため、議長が必要と認めたものを加えることができるようにするため、下記の要項を改正した。

(平成27年1月26日一部改正)

○弘前大学放射線安全機構規程

放射性同位元素等に係る全学的な組織体制の充実等を図るため、放射性同位元素等に係る事項を審議事項に加えることに伴い、下記の規程の一部を改正した。

弘前大学学報第130号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111